

令和 4 年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	あおば子ども食堂実行委員会		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	あおば子ども食堂		
事業の目的	孤食を防ぎ、地域の様々な人たちの多様な価値観に触れられる「地域の第三の居場所」として、子どもが一人でも食べに来られる地域食堂を提供する。		
事業概要	<p>青葉区「ふれあい青葉」に本部をおき、ケアプラザ3か所(美しが丘、さつきが丘、もえぎ野)の計4カ所で「あおば子ども食堂」を運営し7年目に入りました。</p> <p>① 開催日：毎週水曜日 16:00~19:00 制限解除後は、一部時間帯の変更あり 美しが丘では第1日曜日にも食堂を開催している。</p> <p>② 会場：ふれあい青葉、地域ケアプラザ3か所(美しが丘/さつきが丘/もえぎ野)</p> <p>③ 対象：子ども、保護者(父母、祖父母など)</p> <p>④ 利用料：食堂(子ども:100円、大人:200円)、フードパントリーは無料 フードパントリー：地元の企業、コンビニ、個人、フードバンクからの寄附食材に自己資金で購入した食材を袋詰めし手渡している。</p> <p>⑤ 実施回数： フードパントリー：4、5月、8、9月の4か月計16回 1520人來所 食堂：6、7月、10~3月の8か月 計32回開催 子ども 2,285人、保護者ほか1,158人、ボランティア延1,177人。</p> <p>⑥ 実施形態：6、7月、10月~3月までの8か月間は新型コロナ禍、学校スタイルにテーブルを配置、段ボールパーティションを設置したうえで、マスク着用、アルコール消毒と黙食を徹底し食堂運営を開始。</p> <p>⑦ 定例会議：11回実施、ボランティア講習会・交流会は実施せず。</p> <p>⑧ 広報活動：「あおば子ども食堂便り」10・11号発刊。 運営形態変更の都度、チラシ印刷配布。</p> <p>⑨ 昨年末から「ひとり親家庭」への参加呼びかけを開始し新規利用者拡大を図った。</p> <p>⑩ 2022年も多くの寄附(寄付金・野菜・お年玉、カレー、ピザ、ケーキ、お菓子等)をいただいた。</p>		
今後の展望	<p>新型コロナが治まりつつある中での新学期、マスク解禁になったが、「あおば子ども食堂」では、当面、利用者、ボランティアともにマスクの着用を継続しての運営をせざるを得ない。また小学校学校長の異動をふまえ「あおば子ども食堂」の理解と協力をお願いの方々、早々に学校を訪問する予定。</p> <p>社会福祉協議会、地域ケアプラザ、民生委員・児童委員、学校、キッズ等との連携を図り、一人でも多くの子どもの参加を期待したい。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<p>七夕飾り さつきが丘</p>  <p>ふれあい青葉のクリスマス</p>  <p>ハロウィーン お菓子の袋 飾りつけ</p> 		